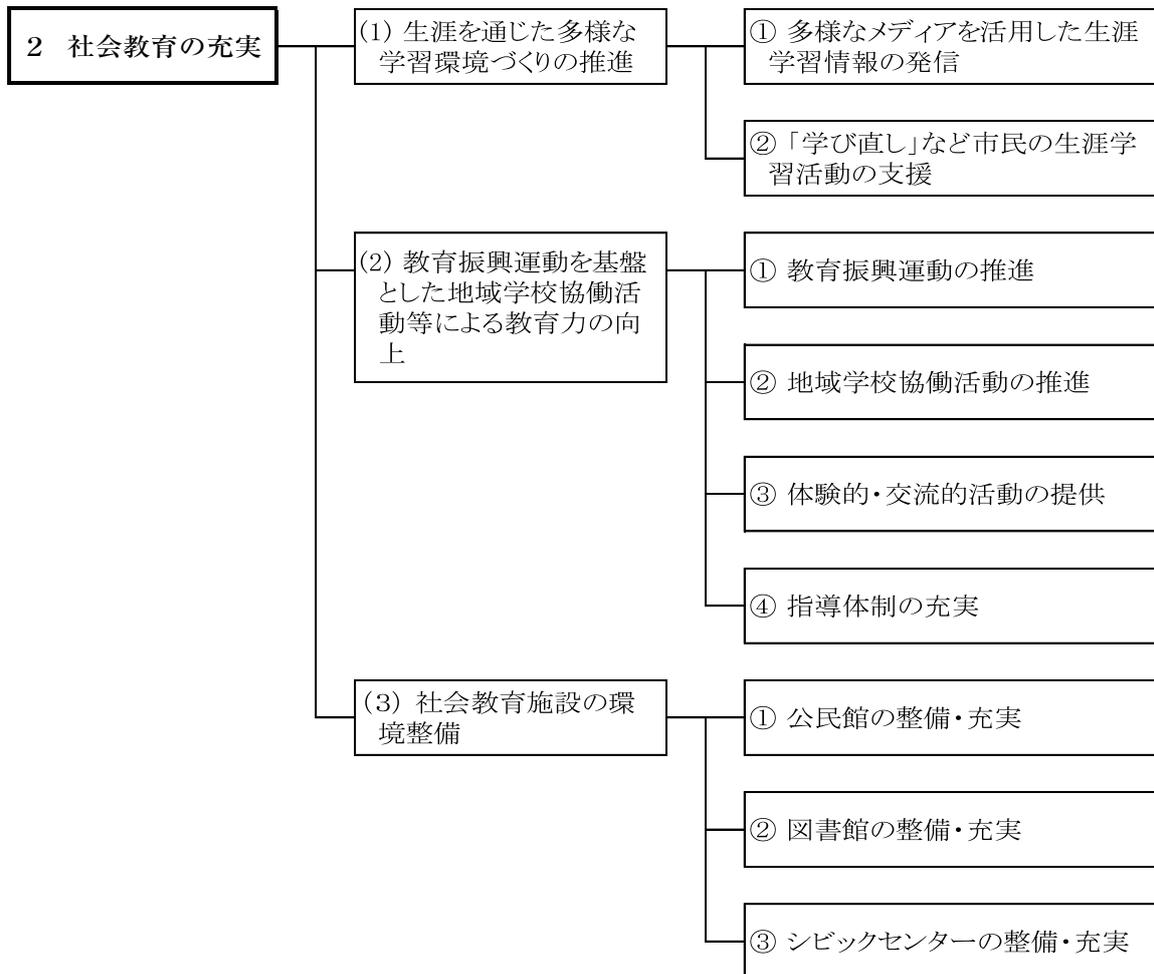


2 社会教育の充実

■体系



(1) 生涯を通じた多様な学習環境づくりの推進

① 多様なメディアを活用した生涯学習情報の発信

【現状と課題】

生涯学習は、人々が生涯のうちいつでも自由に学習機会を選択し、その自発的意思に基づいて行うことを基本とする学習です。市民が積極的に生涯学習に取り組むためには、生涯学習の効用や楽しさを市民に伝え、学習への意欲を喚起するとともに、意欲を持った市民が求める情報を提供し、実践や学んだ成果の活用につなげていくことが必要です。

市民一人ひとりが、職業や年齢、地域等に捉われず、それぞれに適した手段及び媒体による情報提供を行うことが求められます。

【今後の方針と取組】

市民が積極的に生涯学習に取り組むため、学習情報の収集・提供に努めるとともに、これらの内容の充実を図り、生涯学習の普及啓発と関心の喚起にも努めます。

【主な事業】

- ・ 広報「このへ」やホームページ等を通じた生涯学習情報の提供

② 「学び直し」など市民の生涯学習活動の支援

【現状と課題】

変化の激しい社会情勢の中で、市民のライフスタイルも多様化しています。

人生100年時代を迎える中、市民が年齢、性別、障害のある・なしに関係なく、「いつでも・どこでも・だれでも」学ぶことができる学習環境の整備と、生涯学習社会の実現に向けた基盤づくりを進める必要があります。

そのため、社会教育施設等を拠点に、現代的課題の解決に繋がる学習や地域づくりに役立つ学習等、社会状況に応じた学習機会の提供が望まれます。

また、次世代の育成や地域課題に取り組んでいる社会教育団体へ支援を行い、地域の社会教育活動の推進につなげることも必要です。

【今後の方針と取組】

公民館講座を始めとして、生涯にわたって学ぶことのできる環境づくりに取り組み、幅広く学習できるよう各種講座の充実と社会の変化に対応した学習機会の提供に努めます。

公民館や図書館など社会教育施設では、「地域における学習の拠点」として、社会教育団体、市民の学習活動を支え、一人ひとりが学びの成果を生かして活躍できるよう支援します。

【主な事業】

- ・ 放送大学岩手学習センター二戸校の周知、環境整備
- ・ 多様な学習ニーズに応える講座の開催
- ・ 社会教育団体の支援
- ・ 図書に親しむまち推進事業

●数値目標

評価指標	現状	数値目標	
	令和元年度	令和3年度	令和7年度
市立公民館講座実施回数（回）	192	190	170

(2) 教育振興運動を基盤とした地域学校協働活動等による教育力の向上

① 教育振興運動の推進

【現状と課題】

二戸市における教育振興運動は、心豊かで健全な子どもを育むために、昭和54年に「健全育成」「学力向上」「健康安全」を活動の柱に掲げ、子ども・家庭・学校・地域・行政の5者が共に実践活動と相互協力の強化を図ってきました。

近年、生活様式の変化や情報化、国際化の進展、少子高齢化や地縁的な繋がり
の希薄化等により、家庭や地域社会における教育力の低下が指摘される中、家庭や地域が果たすべき教育機能を回復し、地域の教育力をより一層強化していくことが課題となっています。

【今後の方針と取組】

家庭・学校・地域との連携をより一層深め、教育振興運動の更なる充実を図り、地域全体で子どもを育む機運を高めます。

【主な事業】

- ・ 各学校における家庭教育学級の開催
- ・ 教育振興運動集約集会の開催
- ・ 「家庭教育の手引き」の発刊

●数値目標

評価指標	現状	数値目標	
	令和元年度	令和3年度	令和7年度
家庭教育学級開催数（回）	40	44	44

② 地域学校協働活動の推進

【現状と課題】

教育振興運動を基盤とした地域学校協働活動に取り組んできましたが、地域社会のつながりや支え合いの希薄化等による地域の教育力の低下、基本的な生活習慣や生活体験、自然体験等を身に付ける家庭の教育力の低下が指摘されており、学校と地域が連携・協働し、社会全体で行う教育が一層求められています。

【今後の方針と取組】

子どもの成長を軸として、学校を核とした地域づくりを目指し、多くの幅広い層の地域住民、団体等が参画し、緩やかなネットワークを形成しつつ、教育振興運動や地域全体で子どもたちの学びや成長を支える活動を実施するため、地域学校協働本部の設置に取り組んでいきます。

また、地域学校協働本部は学校に設置されるコミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）と連携・協働しながら、地域学校協働活動を推進していきます。

【主な事業】

- ・ 地域学校協働本部の設置
- ・ 幅広い層の地域住民、団体、学校の参画による各種取り組みへの支援

③ 体験的・交流的活動の提供

【現状と課題】

都市化や少子高齢化、急激な人口減少、情報化の進展に伴い、地縁的な繋がり希薄化が懸念されていることから、子どもたちが日常の中で多くの人と関わり様々な体験活動を行う機会や、郷土への理解を深める学習の機会が求められています。

また、若者の就職や就業をめぐる環境が大きく変化している今日、将来直面すると思われる課題に柔軟に対応し主体的に進路を選択できるよう、子どもたちが社会人・職業人としての生き方を考える機会の提供が必要とされています。

【今後の方針と具体的な取組】

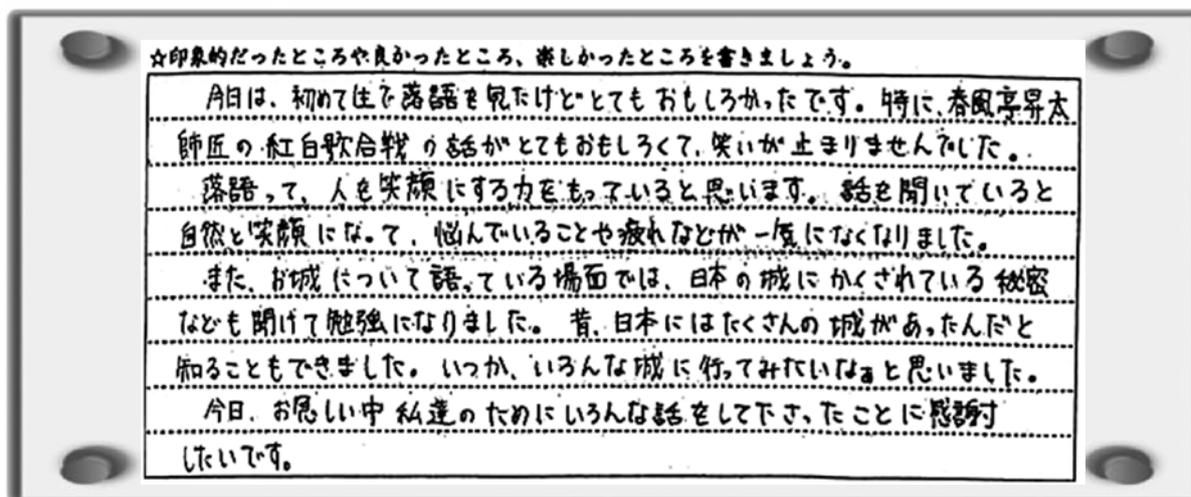
地域の自然や施設、人材などを活用した体験的・交流的活動の提供に努め、青少年の豊かな人間性や変化の激しいこれからの社会を生き抜くための「生きる力」を育成します。また、地域の良さを子どもたちが改めて認識する機会を提供し、生まれ育った地域の発展に積極的に貢献しようとする人材の育成につなげます。

【主な事業】

- ・ 槻蔭舎きぼう塾の開催
- ・ 放課後子ども教室の開設

●数値目標

評価指標	現状	数値目標	
	令和元年度	令和3年度	令和7年度
槻蔭舎きぼう塾開催数（回）	5	6	6
体験・交流イベントの参加児童満足度（％）	89	90	90



槻蔭舎きぼう塾「春風亭昇太 落語と九戸城を語る」の講話を聴講した生徒の感想

「自然と笑顔になって、悩んでいることや疲れなどが一気になくなりました」

④ 指導体制の充実

【現状と課題】

社会教育事業の推進にあたっては、市民や関係団体等からの問い合わせや相談に対し適正な指導・助言ができるよう、関係機関との連携を図りながら、専門職員の配置や関係者の資質向上に努め、指導体制を強化していく必要があります。

【今後の方針と具体的な取組】

社会教育主事や社会教育指導員といった専門職員の配置を継続するとともに、社会教育行政に関わる職員等の計画的な養成に努めます。

【主な事業】

- ・ 専門職員の配置
- ・ 各種研修や大会等への社会教育関係者の参加

●数値目標

評価指標	現状	数値目標	
	令和元年度	令和3年度	令和7年度
岩手県立生涯学習推進センター 一等研修参加者数（人）	25	27	30

(3) 社会教育施設的环境整備

① 公民館の整備・充実

【現状と課題】

市立公民館は、市民の学習活動を支援するための拠点施設として、多くの市民や各種サークル団体に利用されています。

人生100年時代を見据え、幅広い年代の市民が安全に利用できる施設として、計画的に整備を進める必要があります。

【今後の方針と取組】

現在、市内4か所にある市立公民館については、人口減少や二戸駅東側区画整備事業に伴う石切所公民館の移転新築、中央公民館の老朽化などを総合的に勘案し、今後の方向性や整備について検討し、施設の効率的な利活用に努めます。

また、地域の活動拠点として多様なニーズに対応しながら、計画的に施設の整備に取り組んでいきます。

【主な事業】

- ・ 石切所公民館の移転新築
- ・ 公民館施設の効率的な利活用
- ・ 各施設の計画的改修
- ・ 地域活動の支援

② 図書館の整備・充実

【現状と課題】

図書館は、子どもから高齢者まで、誰もが気軽に利用できる生涯学習の拠点であり、生活の質を豊かにする施設です。

多様な図書館利用に対応するため、建築から30年以上経過した施設の適切な修繕や維持管理を行い、安心して利用できる環境づくりが必要です。

【今後の方針と取組】

社会の変化に対応した利用しやすい施設の維持管理、計画的な蔵書の収集・整理に努め、市民の読書活動の推進や自主的な学習活動を支援します。

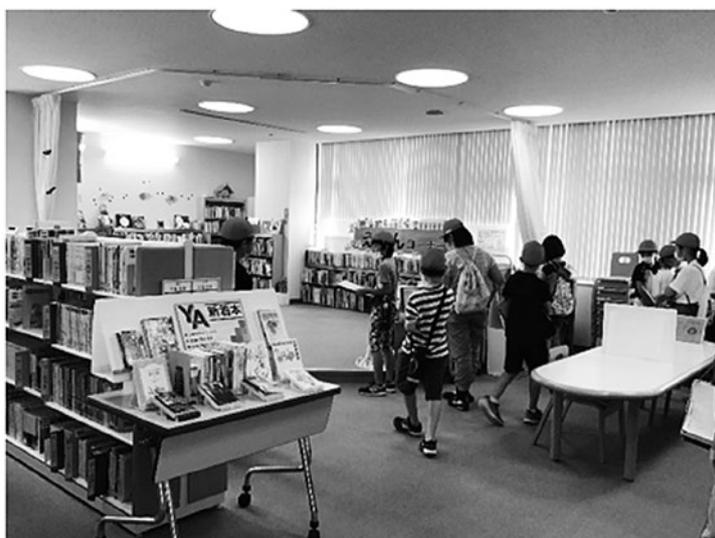
また、学校と連携した児童の社会科見学学習をはじめ、読書活動の充実を図るためのブックツアーの受入れや団体貸出など学習の支援を行います。

【主な事業】

- ・ 学校と連携した学習活動支援
- ・ 施設の計画的改修

●数値目標

評価指標	現 状	数値目標	
	令和元年度	3 年度	7 年度
市立図書館貸出冊数（冊）	91,204	91,500	92,000
カシオペアセンター図書室貸出冊数（冊）	5,325	5,400	5,500



市内小学生の館内学習

③ シビックセンターの整備・充実

【現状と課題】

シビックセンターは、市民の交流促進と科学技術の普及啓発を目的とし、子どもから高齢者まで多くの方が気軽に利用できる生涯学習施設です。

シビックセンター内にある田中館愛橋記念科学館は、世界的物理学者田中館愛橋博士の業績を紹介し、顕彰等の展示を行うだけでなく、科学技術に気軽に触れる機会を提供しています。

また、福田繁雄デザイン館は世界的グラフィックデザイナー・福田繁雄氏の作品を常設展示しているだけでなく、年に2回企画展を行い作品に触れる機会の拡充を図っています。

そのため、所蔵している資料の保管や活用方法について検討し、適切な施設の維持管理を行うことが求められています。

【今後の方針と取組】

指定管理者と連携し、入館者増加につながる様々な企画展示を行い、サービスの向上や効率的な運営を推進します。

また、田中館愛橋記念科学館、福田繁雄デザイン館、貸館施設を維持し、社会の変化に対応した施設の充実に努めます。

【主な事業】

- ・ 幅広い内容の企画・展示
- ・ 施設の計画的改修